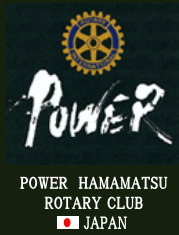


国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

小さな歯車 地球を回す

RI 会長 ゴードン R. マッキナリー / 第 2620 地区ガバナー 中村皇積 / 会長 伊藤勝人 / 幹事 土屋公良
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC



第951回例会10月3日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間
- 司会：堀内善弘 北川貴志
- 点鐘：伊藤勝人
- 週報：鷺津有一
- ロータリーソング：「我等の生業」
- ゲスト：米山記念奨学生 ヤオ ファンボさん

出席報告/スマイル報告

会員数 70 名 (内出席免除会員 1 名)
出席数 59 名 出席率 85.50%

スマイル提出者氏名掲載
会員維持増強選考委員会・坂井光蔵

会長挨拶

おはようございます。仲秋の名月、朝晩が少し涼しくなり、ようやく秋の気配を感じられるようになりました。しかし、インフルエンザ、コロナウイルスも再流行しているようで、充分注意をお願いしたいと思っています。

さて、あっという間に3か月が過ぎてしまいましたが、今期を支えていただいています全会員の皆様のお力により、念願としている新会員が3名入会しました。さらに、今月から来月にかけて、2名の入会も予定されています。それに加えて、各同好会の皆さんをはじめ、会員同士のご協力のもとに親睦の和も深まり、そんな中で「奉仕の理想」という芽が育っていくのだなとつくづく感じて大変感謝をしています。

今月は大切な行事が多く、ガバナー公式訪問、地区大会、創立記念例会と、目白押しのスケジュールになっています。お客様をお迎えする場面が大変多くなりますので、例会の朝食は、7時から7時30分の中で済ませ、例会に臨んでいただきたいと思います。

まずは私自身を律して「柔あり剛あり」のパワー浜松ロータリークラブの中で、今期を楽しんでいきたいと思っていますので、宜しく願いをいたします。



幹事報告

- ・「ロータリーの友」配布
- ・10/21(土) 創立記念例会です。事前出欠をとります。会場監督までご連絡ください。
- ・ロータリー財団より「ポール・ハリス・フェロー」の賞状と記念のピン授与
対象者 年間 1,000 ドル寄付…坂神さん、匂坂さん、
曾布川さん、井熊さん
年間 2,000 ドル寄付…堀内さん、鈴木一広さん
- ・「古着 de ワクチン」奉仕活動…目標に達しました。ご協力に感謝します。



委員会報告

- 会場監督 堀内善弘さん

10月21日(土) 19時開催の創立記念例会の出欠を本日より行っています。10日(火) 締め切りとなります。ご協力よろしく申し上げます。

米山記念奨学生 奨学金授与

パワー浜松ロータリークラブの皆さん、おはようございます。私は米山記念奨学生ヤオ ファンボです。

先週、私は同窓会の友人たちと他のロータリークラブ主催の子供たち支援募金活動に参加してきました。場所は遠鉄百貨店前で、当日は多くの方に寄付をして頂きました。子供たちを助けることは社会の配慮を反映するものであり、私も参加することで多くのことを得ることができました。同時に、クラブ主催の児童お弁当配布も無事に終了することを願っております。



入会式

入会者 鷹尾太さん (株)タカソウ 代表取締役

推薦者 後藤達朗さん

クロス職人からスタートし、徐々に仕事の幅を広げ、内装一式を扱うようになり、現在は店舗内装工事をメインにしています。名古屋・焼津・東京にも事務所があり、全国で仕事をしています。

趣味は、釣りで、カジキ釣り用のボートも所有しています。

ロータリーに関しては右も左も分かりませんので、よろしくご指導をお願いします。



議事

■「地区補助金事業の説明」 担当：財団プログラム部会 松島弘明部会長

第956回例会として行われる「子ども食堂」お弁当配達事業について説明します。配布は、10月23日(月)～28日(土)・11月20日(月)～25日(土)の2回行います。

皆さんのご協力のおかげで、配達のメンバーは不足なく振り分けることができました。配達に関する留意事項を説明させていただきます。



- ・服装は、パワー浜松 RC のブルゾンか T シャツを着用してください。
- ・配達担当者は、「こなこな」(水・金・土)「グレースカフェ」(月・火・木)で弁当を受け取ってください。時間は移動時間を考慮し、配達時間から逆算してください。
- ・配達者は弁当受け取り後、出発連絡してください。
- ・教室に届け可能であれば子どもたちと交流して下さい。
- ・許可が得られれば、お弁当と一緒に写真を撮影してください。
- ・配達完了の連絡を行い、解散となります。

■子ども食堂および貧困家庭について 安間孝明副会長

お弁当を必要としている家庭の実態について話をさせていただきます。

私の友人が食料支援をしているジーザス・コミュニティという組織を運営しており、その活動に対し、御礼が多数寄せられています。

活動により生の声を聞いて頂けると貧困家庭の実態がよく理解出来ると思います。

私たちの活動は弁当を1食・2食届けるだけのこともかもしれませんが、貧困に苦しんでいる方たちを「忘れてはいない」というメッセージになると思います。

寄り添うとはそういうことだと思えます。

小さな活動かもしれませんが、励ましを与えるという意味でとても重要な事業だと思えます。

